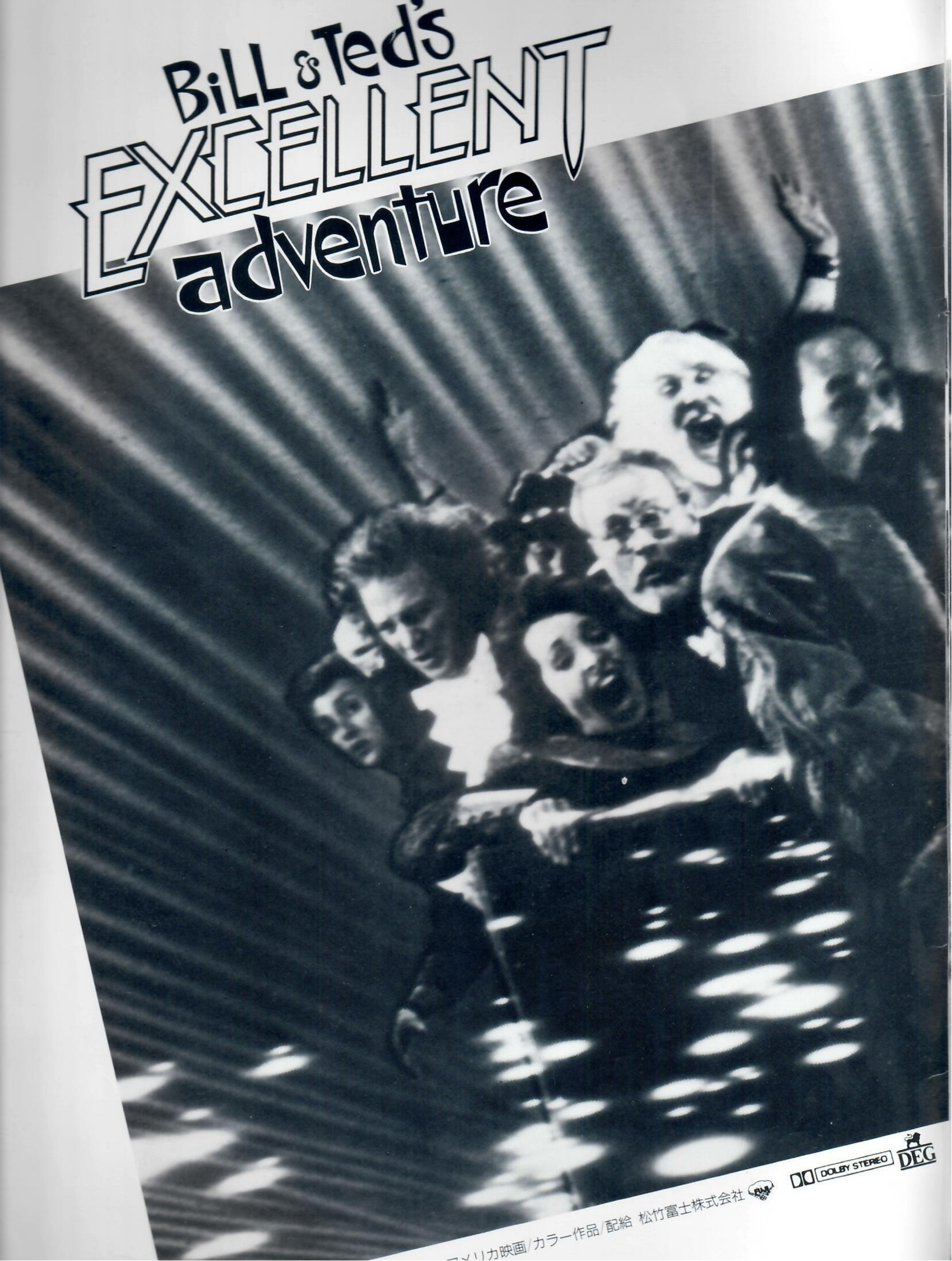

ビルとテッドの大冒険
BiLL & Ted's
EXCELLENT
adventure


Bill & Ted's
EXCELLENT
adventure
DOLBY STEREO
DEG
メリカ映画/カラー作品/配給 松竹富士株式会社

全米のヤングが熱狂！

映画も音楽も大ヒット。









KEANU REEVES

■テッド

キーヌ・リーブス

彼の演じたテッドは、短時間で歴史的な地をあちこち尋ね回った。そしてリーブス自身も、22歳という若さですでに様々な国で生活した経験を持っている。

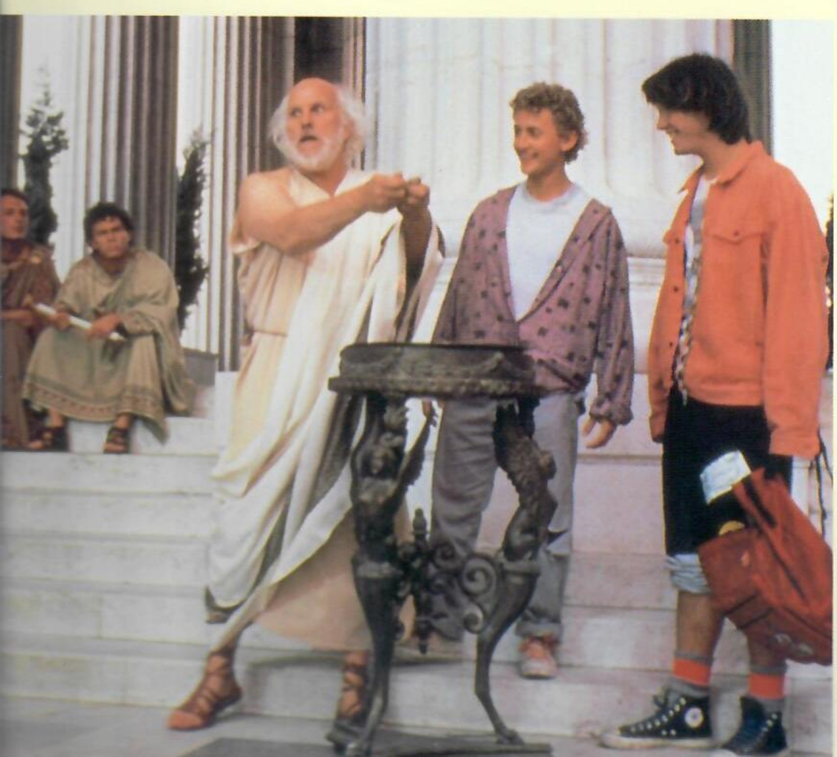
レバノンのベイルート生まれ。そしてハワイ、ニューヨーク、カナダのトロントを経て、今はカリフォルニア州のベニスにおさまっている。

16歳でカナダのテレビ・シリーズ「Hanging In」で俳優としてデビュー。その後2年間、カナダをベースにいくつかの舞台に立つ。

アメリカのテレビ・シリーズ「Under the Infuluence」「Babes in Toyland」そして、「Act of vengeance」を経て、ロブ・ロウ主演の「栄光のエンブレム」でスクリーンに初めて登場する。その他の作品は、「The Night Before」「I Wish I Were Eighteen Again」「河畔の殺意」「Prince of Pennsylvania」「危険な関係」

「ビルとテッドはいいコンビで似た者同士だ。彼らは社会のきまりも、学校の校則も無視する。彼らには彼ら自身のきまりがあるからね。つまり、それは『世の中には、きまりなんてない』ってことさ」

「ルファスは高度に進化した人間で、ロックンロールのクールさを持った年齢700歳という謎の人物だ。そして、ちょっと変わったユーモアのセンスをもった未来のヒーローともいえる。彼のおかげで、ビルとテッドは歴史がたいくつなものだなんて、もう決していったりしないだろう」





「ビルとテッドはクールで、楽観的な個人主義者だと思う。
必要なものはすべて、その場その場で生みだしていく現場処理型の人間だ。２人はルファスに感謝しながら、ずうずうしくやっていくんだね」



ALEX WINTER

■ビル
アレックス・ウィンター



ロンドン生まれのミズーリ州セント・ルイス育ち。
両親ともダンサーというショー・ビズ一家に生まれたウィンターは、７歳で早くも舞台に立つ。７年後、ニューヨークに移った彼はユル・ブリンナー主演の「王様と私」の準主演を獲得し、アメリカ全土を回る。ニューヨークへもどると、今度は「ピーターパン」の主演に抜擢され、ブロードウェイの舞台で活躍する。
その後、ウィンターは有名な映画学校で学び、卒業作品として「Sequal of Death」と題したショート・コメディを作る。
ロスに本拠地を移してからも、彼は意欲的に「Death Wish Ⅲ」や「ロスト・ボーイ」に出演。「ビルとテッドの大冒険」のあとには、キャノン・フィルム製作の「Haunted Summer」がひかえている。

GEORGE CARLIN

■ルファス
ジョージ・カーリン



ニューヨーク生まれ。
ラジオDJとしてショー・ビズの世界に入る。ハーレムのすぐ近くに住んでいたカーリンは、ハーレム独特のなまりや会話を取り入れたDJをし、それが受けて、ラジオからステージへと活躍の場を移す。
出したアルバム13枚は全て大ヒット。彼の主演するテレビのお笑いスペシャル番組は、次々と高視聴率をマーク。現在、彼は世界中のライブ・ステージでコメディ・ショーを年間100本こなすという、超売れっ子スーパーコメディアンである。
映画の主演作品にはベット・ミドラー主演の「うるさい女たち」があるが、これを機にさらに多くの映画に取り組みたいと意欲満々。





EXPLANATION

夢と笑いとロックンロールをつめこんだタイムマシーンがくりひろげる、未知体験アドベンチャー、遂に日本上陸！

歴史の授業で落第寸前の落ちこぼれ高校生ビルとテッド。電話ボックス型のタイムマシーンに乗った２人は、原始時代から西暦2688年までを駆けめぐり、そこで出会ったナポレオン、ソクラテス、ベートーベンなどの偉人たちを現代に呼びよせて試験合格を狙おうとする……。こんな奇想天外なストーリーに、ロック・ミュージックのノリのよさをドッキングしたのが「ビルとテッドの大冒険」だ。ロックンロール・タイム・アドベンチャーとも呼べるこの作品、全米ではヤング層から圧倒的な支持を受けて大ヒットを飛ばし、早くもパート２製作の噂まで飛び出している1989年度のアメリカ映画界を代表する一本なのである。

アメリカでは、記録破りの大ヒット。ヤング層にセンセーショナルなブームをまきおこした２人組、ビルとテッド！

全米では、'89年２月に1200館で公開され、２週目にして1740万ドル（22億６千万円）を稼ぐヒットとなった。これは興行成績ベスト・テンでは第２位だが、一館当りのアベレージでは第１位に輝くスマッシュ・ヒットであった。その後も他の作品を押しのけてダーク・ホース的なロングランを続けており、業界関係者はア然、観客たちは大喜びした。

中でも、ティーン・エイジャーたちからの支持はすさまじく、上映館では、エンディングで「アンコール」の拍手が起こるという。

そんな全米熱狂の原因は、この映画のノリのいい明るさにあるといえよう。

アメリカン・コミックを彷彿とさせるアクションとセリフ（「ワァーオ！」「エクセレント（すげぇ）！」）を連



■解説

発し、どんな大ピンチに陥っても、決してメゲないビルとテッドは新しいタイプのヒーロー像ともいえる。それもティーンにとっては、等身大のヒーローの出現なのだ。
　そして、タイムマシーンでやってくる偉人たちも、大爆笑パフォーマンスを見せてくれるサービスぶり。映画の見せ場の一つともいえよう。

これからのアメリカ映画を面白くする、新鋭キャスト&スタッフ総結集！

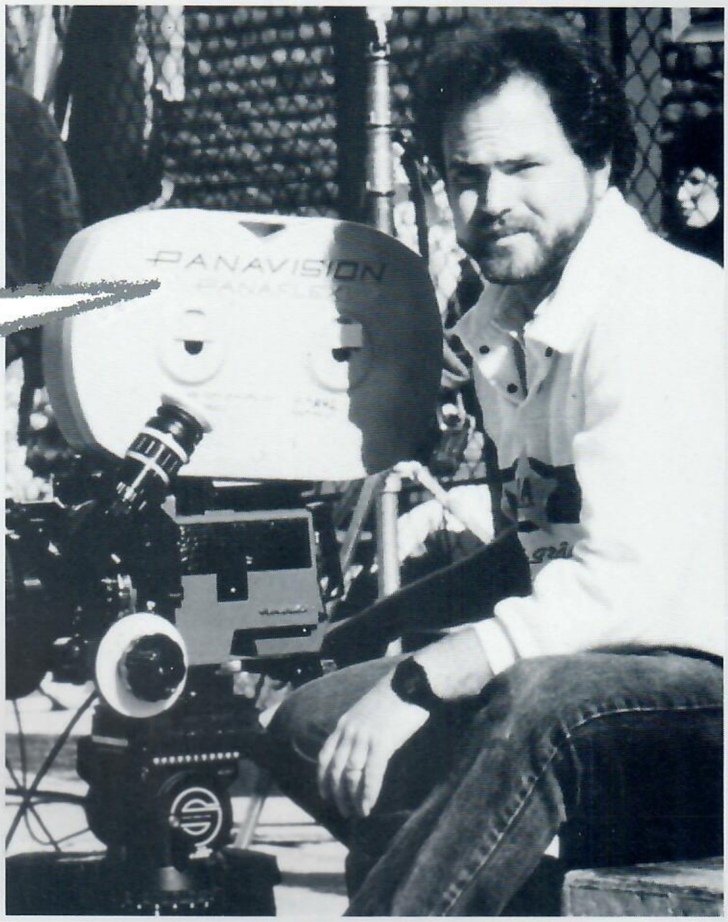
　この作品がなぜヤングにウケたか？　それは実力ある若手キャスト&スタッフが製作したからに他ならない。若い観客の心をつかむためには、製作者たちも若くなくてはならないといういい例である。
　主人公ビルとテッドを演ずるのは、映画初主演のアレックス・ウィンターとキーヌ・リーブス。2人とも、これからが楽しみな注目の成長株といえる。そして、未来からやってきた謎の助っ人、ルファスは「うるさい女たち」のジョージ・カーリンが演じている。
　監督はステファン・ヘレク。「クリッター」に続く監督第2作目だが、前作以上にスピーディなテンポで見せていくその手腕は大したもの。製作は「うるさい女たち」のスコット・クルーフと、「エルム街の悪夢2」のマイケル・S・マーフィー、ジョエル・スワーションの3人組。脚本は、この作品で脚本家として本格的にデビューしたクリス・マシソンとエド・ソロモンが執筆。撮影は「クリッター」「マネキン」「ティーン・ウルフ」といった若者向けの作品を得意とするティモシー・サースティッド。さらに「スター・ウォーズ」「リバイアサン」のバリー・ノーランが特撮を担当。迫力ある時空間移動シーンでは、まるでジェット・コースターに乗っているような気分にさせてくれる。
　これらのスタッフが楽しんで製作したことこそ、本作品が成功をおさめた最大の原因といえよう。
　「ビルとテッドの大冒険」はアメリカ映画の新しい可能性を見せてくれるエンターティメント作品なのである。





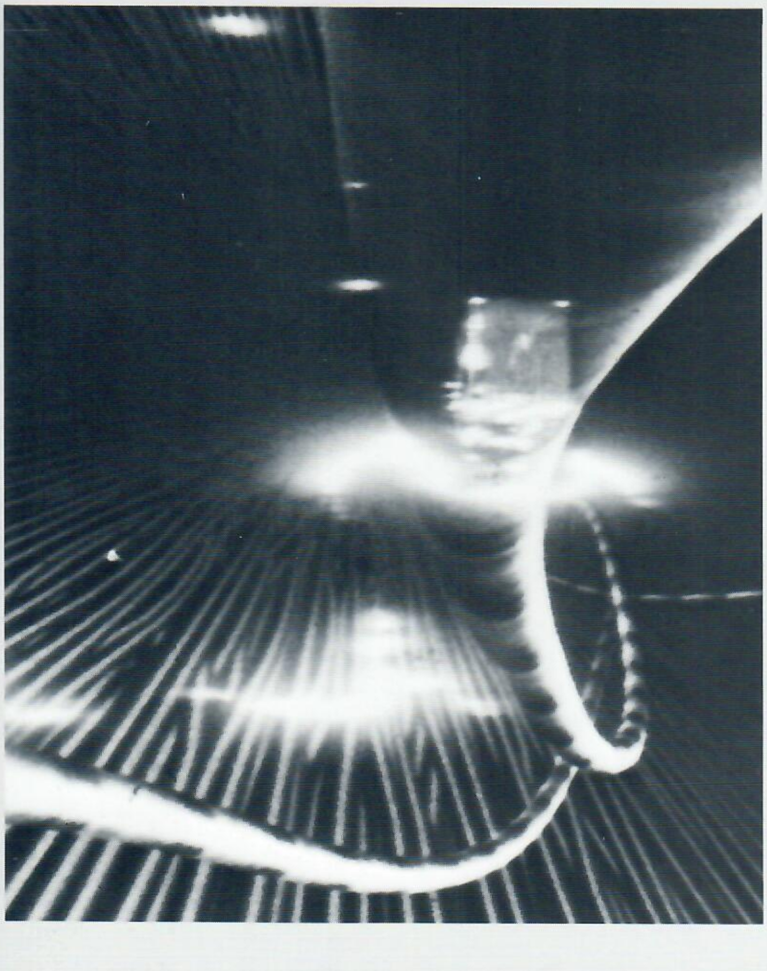

PHON

「この映画は、単に過去へ行ったり、未来へ行ったりというだけでなく、予期せぬ夢が実現するというものだ。
私はSFXでいくつかの部分をカバーできると思っていたが、それですべてを処理するのは不可能であることもわかっていた。つまり、衣装やメイクの技術者、そして俳優の演技力に頼らざるを得なかった」
劇中で使われた衣装はローマ市民の着たトーガや、フランス革命時のコスチュームに始まり、現代のジーンズまで。
「まるで一度に10本の映画を撮っているようだったよ(笑)」



■監督
ステファン・ヘレク

ニュー・ワールド・ピクチャーズのプロデューサー、ロジャー・コーマンの編集者として映画の世界に入る。
エディターとして、コーマンの作品を何本か手掛けた後、コメディ・タッチのSFホラー「クリッター」で監督としてデビュー。低予算映画であったが、アメリカでは大ヒットした。今回の「ビルとテッド」の大ヒットも含めて、アメリカ映画界の新しいヒットメーカーと呼べるであろう。



■製作
スコット・クルーフ

舞台監督出身。のちに、ハリウッドの高級ナイト・クラブ“ザ・パレス”等、数多くのインテリア・デザインを手掛けたという変わり種。
クルーフは、開発委員として映画の世界に初めてたずさわる。82年にはエンバシー・ピクチャーズの業務委員として迎え入れられる。インタースコープ社の副社長に就任し、プロデューサー業を始める。
彼が最初に製作した作品は、ベット・ミドラー主演の「うるさい女たち」。

■製作
マイケル・S・マーフィー/ジョエル・スワーション

83年、サンディー・ハワードのリパブリック・エンターテイメント・インターナショナルで製作を共にして以来、２人はコンビを組んでいる。主な作品は「Avenging Angel」「The Boy Next Door」「ハンボーン」「The Supernaturals」「エルム街の悪夢２/フレディの復讐」「ハロウィン1988/地獄のロックン&ローラー」

■脚本
クリス・マシソン／エド・ソロモン

両者とも「ビルとテッドの大冒険」で脚本家デビューを飾る。
マシソンもソロモンも、UCLAで学ぶ学生で、その頃にビルとテッドのキャラクターを思いついた。マシソンは脚本家の家庭に生まれた。父親のリチャードは、テレビ・シリーズの「トワイライト・ゾーン」や映画の「ジョーズ３」で有名なSF作家。兄のクリスチャンは「30'clock High」で脚本家としてデビューしたばかりだ。
ソロモンは大学卒業後、ショー・コメディアンとしてステージに立つかたわら、コメディアン仲間にステージ用の台本も提供していた。その後、テレビのコメディ一番組「It's Garry Shandling's Show」の台本を書き、21歳になって初めてテレビ・シリーズ「ラバーン&シャーリー」の脚本を手掛け、本格的に脚本家としてスタートする。
この２人は映画の中で、ナポレオンの口にアイスクリームを押しこむウェイター役で出演している。


とっても、とんでもない
タイム・カプセル！



MUSIC ■音楽ノート

この映画の魅力の一つは、劇中で流れるロック・ナンバーだ。日本では、まだまだ知名度が低いけれど、しかし、これからのミュージック・シーンを背負って立つであろう実力派アーチストがそろっている。
オーストラリア期待のビッグ・ピッグによるオープニング曲「ブレイク・アウェイ」から、新鋭、エクストリームの「プレイ・ウィズ・ミー」まで、イカしたナンバーの連続。
特に、エクストリームは人気上昇中のハードロック・バンド。85年の結成以来、エアロスミスやポイズン、ホワイト・ライオンなどのオープニング・アクトを務め、実力をつんでいった4人組である。
そして、"世界で最も重要な3人衆(未来世界の主)"役に、歌手のフィー・ウェイビル、マーサ・デイビス、そしてブルース・スプリングスティーン率いるEストリート・バンドのサックスプレイヤーとして有名なクラレンス・クレモンスが出演しているのも、ロック・ファンにはうれしい。







MUSIC LIST

PLAY WITH ME/EXTREME
プレイ・ウィズ・ミー/エクストリーム

I CAN'T BREAK AWAY/BIG PIG
ブレイク・アウェイ/ビッグ・ピッグ

THE BOYS AND GIRLS ARE DOING IT/VITAL SIGNS
ドゥーイング・イット/ヴァイタル・サインズ

FATHER TIME/SHARK ISLAND
ファザー・タイム/シャーク・アイランド

DANGEROUS/SHARK ISLAND
デンジャラス/シャーク・アイランド

WALK AWAY/BRICKLIN
ウォーク・アウェイ/ブリックリン

IN TIME/ROBBIE ROBB
イン・タイム/ロビー・ロブ

TWO HEADS ARE BETTER THAN ONE/POWER TOOL
トゥー・ヘッズ/パワー・トゥール


SAVE THE
HUMANS

STORY　■物語

1988年、カリフォルニア州サン・ディマス。そこには太陽がサンサンと降り注ぐ、明るい西海岸の気候そのままの、やたらひょうきんで根アカな高校生２人組がいた。

彼らの名前はビル（アレックス・ウィンター）とテッド（キーヌ・リーブス）。気の合う似た者同士の２人は、勉強なんてそっちのけ。“ワイルド・スタリンズ”というバンドでヴァン・ヘーレンもまっ青のロック・スターになるという空想にばかりふけっていた。

ある日、２人は歴史の先生から、今学期の成績が最悪であると聞かされる。そしてもしも次の日の歴史レポート発表会で、ユニークな研究発表ができなければ、『２人とも落第だ／』といわれてしまう。そんな事にでもなろうものなら、テッドは刑事でもある厳しい父親に、アラスカの陸軍学校に送りこまれてしまう。ビルと離ればなれになれば“ワイルド・スタリンズ”の夢もパア。

でも、ハンパな研究発表じゃ合格点はもらえないだろうし、かといってこれという名案も浮かばないし……。

そんなビルとテッドに奇跡が起こった。２人の目の前に、突然ルファス（ジョージ・カーリン）という謎の男が現れ、レポートの手助けをするというのだ。あっけにとられている２人に、男は電話ボックスを差し出す。『これに乗れば、好きな時代の好きなところに行けるよ』。２人はおそるおそるボックスの中へ。

時間と時間をつなぐチューブの中をものすごいスピードで走りぬけ、まず、やってきたのが1805年のオーストリア。ナポレオン率いるフランス軍の侵攻が進む時代だった。本物の戦場を見て、びっくりのビルとテッド。２人は本当に時間と空間を超えたのだ。

いったん現代に戻ってきたビルとテッドは、なぜかいっしょについてきてしまったナポレオンを見て、グッドアイデアを思いつく。『偉人たちを集めて、発表会の場に引っぱり出すんだ／』。さっそく、２人はナポレオンをら致して、再び時間の旅へ出発する。

アメリカの西部開拓時代、拳銃の弾丸が飛びかう中からビリー・ザ・キッドを、そして、紀元前のローマからはソクラテスを連れてくる２人。途中、助けたり、助けられたりしながら、フロイト、ベートーベン、ジャンヌ・ダルク、ジンギス・カン、そして、リンカーンといった時代の顔たちを集めていく。機械の故障で、西暦2688年に行ったり、原始時代で足止めを食うが、なんとか無事に現代へ帰ってくる。

これで“A”をとったも同然と余裕しゃくしゃくのビルとテッド。発表会までに時間もあるので、偉人たちを街へ案内することにした。ところが、テッドの弟が面倒を見ていたはずのナポレオンは、街で迷子になってしまい、その上、２人がナポレオンを探しに行っている間に、偉人たちはショッピング・センターの中で大騒動を起こし、全員、警察、つまりテッドの父に逮捕されてしまう。

しかし、２人も負けない。いたずらにかけては天才的な彼らはタイムマシーンを使った作戦で、偉人たちの救出に成功。テッドの父をまんまとケムにまいてしまう。

その頃、学校では発表会もいよいよ終わりに近づいていた。そして、最後の幕が降りようとしていたその時、ステージにビルとテッド、そして偉人たちが現れた。彼らを紹介する２人のレポート発表はどこかおかしいが、さすがにリアルで、学生たちにバカウケ。結局、２人は“A”をもらい、偉人たちはそれぞれの時代に帰っていった。

今回の冒険を教訓に、ビルとテッドは本気でバンドの練習をする決心をした。その時、ルファスが再び彼らの前に現れる……。







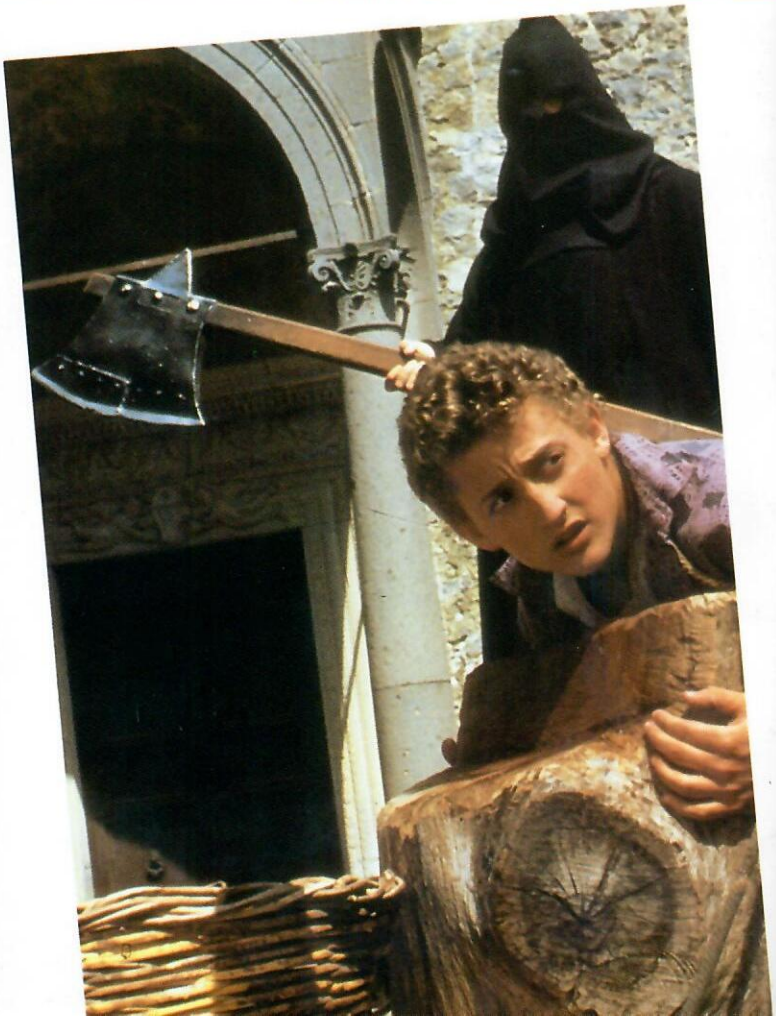












時間のかなたで、待っていたのは、
とってもノリのいい偉人たち。
歴史はロックで
作りなおされる!?





偉人たちが現代社会で見せる

大爆笑パフォーマンス！



シンセサイザーで
ロックンロールを演奏
ボン・ジョビが大好き
ベートーベン

美意識に目ざめ、
エアロビにチャレンジ
ジャンヌ・ダルク

哲学を語って女心をつかむという
紀元前ローマ式ナンパ法の大家
ソクラテス

スポーツ店で
金属バットを手に大暴れ
ジンギスカン

ショッピング
センターで
拳銃を乱射
ビリー・ザ・キッド

ビルとテッドの大冒険



高校生たちの前で感動的な
名演説を聞かせる
リンカーン

刑事の厳しい取り調べも
精神分析でかわしてしまう
フロイト

アイスクリームと
ウォーター・スライダーが
大好き
ナポレオン

■STAFF
Directed by……STEPHEN HEREK
Produced by……SCOTT KROOPF
MICHAEL S.MURPHEY
JOEL SOISSON
Written by……CHRIS MATHESON
ED SOLOMON
Executive Prducers……TED FIELD
ROBERT W. CORT
Co-Executive Producer
……STEPHEN DEUTSCH
Director of Photography
……TIMOTHY SUHRSTEDT
Production Designer……ROY FORGE SMITH
Edited by……LARRY BOCK
PATRICK RAND
Original Score by……DAVID NEWMAN
Visual Effects Supervisor BARRY NORAN
DE LAURENTIIS ENTERTAINMENT GROUP PRESENTS
IN ASSOCIATION WITH DE LAURENTIIS FILM PARTNERS L.P.
AN INTERSCOPE COMMUNICATIONS PRODUCTION
IN ASSOCIATION WITH SOISSON/MURPHEY PRODUCTIONS

■CAST
Ted"Theodore"Logan……KEANU REEVES
Bill S.Preston……ALEX WINTER
Rufus……GEORGE CARLIN
Napoleon……TERRY CAMILLERI
Bill the kid……DAN SHOR
Socrates……TONY STEEDMAN
Freud……ROD LOOMIS
Genghis Khan……AL LEONG
Joan of Arc……JANE WIEDLIN
Abraham Lincoln……ROBERT V.BARRON
Beethoven……CLIFFORD DAVID
Captain Logan……HAL LANDON.JR.
Mr.Ryan……BERNIE CASEY
Missy/Mom……AMY STOCK-POYNTON
Mr.Preston……J.PATRICK McNAMARA
Deacon……FRAZIER BAIN
Princess Joanna……DIANE FRANKLIN
Princess Elizabeth KIMBERLEY LaBELLE
The Three Most Important
People in the World……MARTHA DAVIS
FEE WAYBILL
CLARENCE CLEMONS

■スタッフ
監督……ステファン・ヘレク
製作……スコット・クルーフ
マイケル・S・マーフィー
ジョエル・スワーション
脚本……クリス・マシソン
エド・ソロモン
製作総指揮……テッド・フィールド
ロバート・W・コート
共同製作指揮……ステファン・ドイッチ
撮影……ティモシー・サースティッド
プロダクション・デザイナー……ロイ・フォージ・スミス
編集……ラリー・ボック
パトリック・ランド
オリジナル音楽……デビッド・ニューマン
特殊視覚効果……バリー・ノーラン
提供 デ・ラウレンティス・エンターテイメント・グループ
共同製作…インタースコープ・コミュニケーションズ・
プロダクション
スワーション/マーフィー・プロダクション

■キャスト
テッド"セオドア"ローガン……キーヌ・リーブス
ビル・S・プレストン……アレックス・ウィンター
ルファス……ジョージ・カーリン
ナポレオン……テリー・カミレリ
ビリー・ザ・キッド……ダン・ショア
ソクラテス……トニー・ステッドマン
フロイト……ロッド・ルーミス
ジンギスカン……アル・レオン
ジャンヌ・ダルク……ジェーン・ウィードリン
エイブラハム・リンカーン……ロバート・V・バロン
ベートーベン……クリフォード・デビッド
ローガン警部……ハル・ランドン・Jr
ライアン氏……バーニー・キャセイ
ミッシー(ママ)……エイミー・ストックポイントン
プレストン氏……J・パトリック・マクナマラ
ディーコン……フレイツァー・ベイン
ジョアンナ姫……ダイアン・フランクリン
エリザベス姫……キンバリー・ラベル
世界で最も重要な3人衆……マーサ・デイビス
フィー・ウェイビル
クラレンス・クレモンス

平成元年11月3日発行　発行承認／松竹富士株式会社　編集・発行／松竹株式会社事業部　定価350円(税込み)



Bill & Ted's EXCELLENT adventure

